



大田 祐介
水曜会

**第35回ふくやまマラソンの
取り組みは**

問 ①参加者に対するおもてなしは。

答 ②鞆の浦コースという風光明媚なコースを求めるスポーツツーリズムに対する今後の取り組みは。

答 ①竹ヶ端会場では豚汁の



連石 武則
水曜会

**学校規模・学校配置の
適正化計画の取り組みは**

問 対象地域での取り組み状況と4地域より出された要望事項は。

答 再編対象校の保護者の方々の意見交換の場を持ち、適正化計画の目的や教育効果など全体的な理解はできるといふ意見もある

サービス、鞆の浦コースの参加者には、ちゃんこ汁のサービスを予定。さらに、手作り手旗による沿道での応援やアウンサーによる鞆の浦でのゴール実況、地域の子どもたちや地元ダンスグループが出演するステージ、出店などさまざまな形でのおもてなしができるよう準備を進めている。また、宗茂、猛兄弟を招待し、イベント会場に参加していただくなど大会を盛り上げていきたいと考えている。

②本市の魅力を発信し、地域活性化を図る上で有効であると考えている。

中、再編後の学校生活への不安等さまざまな意見や思いが出された。また、これまでに、山野、広瀬内浦、服部の4学区から学校存続や過疎化対策、継続的な意見交換会等の実施などの要望が出ている。要望で出された意見や思いを真摯に受け止め、保護者との話し合いを重ねる中で説明を尽くした後地域説明会を開催し、学校、家庭地域が一丸となった学校づくりといった観点からも十分に話し合っ



生田 政代
公明党

ひきこもりの社会復帰支援は

問 本市の15歳から39歳までのひきこもりの推定人数は平成27年3月現在2333人ということだが、取り組みの状況は。

答 社会への第一歩を踏み出せるよう支援する青少年自立支援事業や、生活困窮者からの相談を受ける生活困窮者自立支援事業のほ



中安加代子
公明党

子育て支援の取り組みは

問 ①産前産後サポート事業の現状は。
②「福山版ネウボラ」*事業への考えは。

答 ①家族等から十分な家事や育児の援助が受けられないことや地域のつながりの希薄化等により妊産婦の不安や負担が増えている

か、ひきこもり家族教室等を実施。

ワクチン行政の取り組みは

問 高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種の周知とB型肝炎ワクチンの予防接種への考えは。

答 高齢者肺炎球菌ワクチンは平成26年10月から定期予防接種となり対象者に郵送で個別通知している。B型肝炎の予防にはワクチンが極めて有効だが、母子感染以外でも感染の可能性もある。来年度中にも全ての乳児に予防接種できる見通しの国の動向を注視する。

ことから、今年度、出産後の母親への産前産後の支援に関するニーズ調査を実施し、現在分析している。今後、この結果をもとに支援事業を検討する。

また、広域的に事業実施できるように、備後圏域の市町とも連携を図る。

②現在実施している母子保健相談事業に加え、今後、産前産後のケア体制の整備を行うとともに、身近な地域で行う子育て支援事業と連携を図り、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援に取り組み。

*スポーツツーリズム：プロスポーツの観戦者やスポーツイベントの参加者と開催地周辺の観光とを融合させ、交流人口の拡大や地域経済への波及効果などをめざす取り組み。
*ネウボラ：フィンランド語で「助言の場」を意味し、フィンランドの子育て支援制度や施設を指す。日本版では、妊娠から出産、育児の切れ目のない相談支援のシステムのこと。